

緑化だより

No.120 平成28年9月号



アレチヌスビトハギ

- 季節の花(ナンバンギセル)
- 野鳥の世界(コノハズク)
- 昆虫の話(鳴き声の主は変な顔?)
- 研修会のご案内
- 展示会
- お知らせ・ご案内

緑化の未来

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp



季節の花

ナンバンギセル

「道の辺（へ）の 尾花が下の 思ひ草 今更々に 何をか 思はむ」
詠み人しらず 万葉集 卷10：2270

（道ばたに生えるススキだけを頼って生きている思い草のように、私はあなた一人を頼りに生きているのですから、今さら何一つ考える事はありません）

万葉集にはただ一首だけナンバンギセルが登場します。古名は「思ひ草」です。この万葉の時代に、すでにナンバンギセルがススキなどへの寄生植物であることを知っていたことは驚くべき観察眼です。宿主はイネ科、ショウガ科（ススキ、ショウガ）です。



ナンバンギセル

まだ暑さの残る日が続きますが、秋の涼しさを求めて草原へ出かけると、一面のススキがゆらゆらと波のように揺れています。なにげなくススキの根元に目をやると、小さな桃色の可愛い花が目にとまります。これがナンバンギセルです。この花に出会うと感激します。

織田信長や豊臣秀吉がすすめた南蛮貿易が栄えた 1600 年頃、ポルトガルやスペインなどから南蛮船でタバコが渡来しました。その時、南蛮人が吸っていたキセルが花の姿に似ていたことからナンバンギセルと呼ばれるようになりました。キセルの語源は、カンボジア語で「管」のこととか、ポルトガル語で『喫煙する』の意味とか諸説ありますが外来語です。

ナンバンギセル(南蛮煙管)はハマウツボ科に属し他の植物の根に寄生して養分を取り生育する寄生植物です。葉緑素を持たないので、自分で光合成をして成育することが出来ません。花はススキの根元から約 20 cmの花柄をのぼして、先端にふくらんだ萼(がく)があり、そこから赤紫色の筒状の花を一輪、うつむきかげんに咲かせます。花は 8 月下旬～9 月中旬が見頃です。分布は日本全土、東南アジアでも見られます。

緑化センターでもススキのある斜面で万葉時代の植物「思ひ草」ナンバンギセルの群生が見られます。(上村)

野鳥の世界

コノハズク

フクロウの仲間では約 20 cmと最小サイズです。

木の葉に似て小さいことから名付けられたようですが、頭部に立ち上がった羽角(うかく)は立派なフクロウの姿です。体は小さくてもその声は大きく、谷から谷を渡って遠方まで届きます。「ブッ・ポウ・ソウ」と鳴く声を聞きなしてブッポウソウの名がつけられました。しかし、その名前前の鳥は別において一時期混乱しましたが、鳴き声の主がコノハズクであることが確認されました。そしてコノハズクは「声のブッポウソウ」、体の色の美しいブッポウソウは「姿のブッポウソウ」と言われるように

なりました。

コノハズクは落葉広葉樹の深い森林を好み、ブナノキ、ミズナラ、トチノキ、ホオノキなど大木の多い、昼間でも薄暗い森をすみかにしています。通常は、夜間暗闇の中で鳴くことが多いのですが、大きな森林では昼間でも「ブッ・ポウ・ソウ」と一定の間隔をおいて鳴くことがあります。広島では県境のブナ林で、3回その姿を確認しています。鳴き声は幾度も聞きましたが、探せる環境ではありませんでした。冠山山系では繁殖も確認されていますので、6～8月頃、県境のブナ林でその声を聞くことができるかもしれません。(吉見)



コノハズク

昆虫の話

鳴き声の主は変な顔??

盛夏を過ぎ、夜には涼しい空気に包まれる頃、草むらでは様々な虫の鳴き声が聞こえてきます。

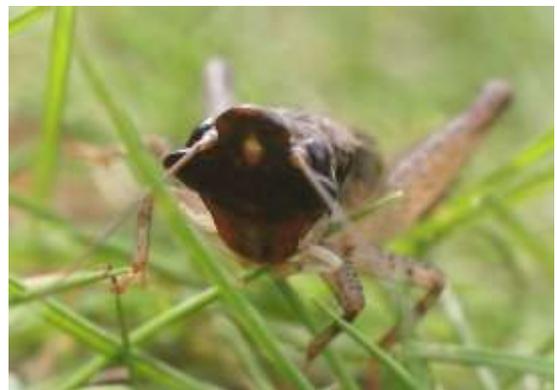
エンマコオロギは「コロコロリー」、スズムシは「リーンリーン」、マツムシは「チンチロリン」と、それぞれ美しい声で鳴いています。それに混じって「ビッ、ビッ、ビッ」と短く鋭く鳴く虫がいます。この鳴き声の主は「ミツカドコオロギ」です。

鳴く虫は声が聞こえてもその姿は見えないものです。ミツカドコオロギも名前や鳴き声を知っていてもその姿は見たことがない人も多いでしょう。体つきはいかにもコオロギらしい姿をしているのですが、とても奇抜な顔をしています。オスの顔はすっぱりと斜めに切られたように平たく、下向きに傾いています。さらに顔の上と左右には突起が出ており、非常に角張った顔をしています。この顔を上から見ると頭部が三角形に見えるためミツカドコオロギと呼ばれています。



ミツカドコオロギ

ミツカドコオロギはとても気の強いコオロギです。もしも、近くで別のオスが鳴いているようなら威嚇音という特殊な鳴き方で牽制します。さらに近づいてくるようであれば角張った顔を相手の顔と突き合わせ、大あごを広げてケンカをします。勝負の勝敗は顔の幅で決まります。顔の幅が広いオスが顔の幅が狭いオスを追い払ってしまいます。



ミツカドコオロギの顔

もしも、道端で虫の鳴き声が聞こえてきたら、草むらをそっとのぞいて姿を探してみるのも良いかもしれませんね。(広島市森林公園こんちゅう館 藤井)

研修会のご案内

- | | |
|--|--|
| ○ 9月9日(金) 『薬草講座』
心も体も薬湯気分 | 10:00～12:00 学習室 集合
講師： 広島国際大学 教授
神田 博史 |
| ○ 9月17日(土) 『初秋の
バードウォッチング』
渡りの前の採食活動は…?
※双眼鏡持参 | 10:00～12:00 管理棟前 集合
講師： 日本鳥類保護連盟会員
吉見 良一 |
| ○ 9月19日(月・祝) 『秋の接木教室』
接ぎ木を実習しよう
※ 要予約(先着30名)・材料費500円、ナイフ持参 | 10:00～12:00 学習室 集合
講師： NPO法人「樹木医ひろしま」
理事長 溝口 幸平太 |
| ○ 9月26日(月) 『9月の自然探勝』
初秋の樹木と草花を観察しよう | 10:00～12:00 管理棟前 集合
講師： 森林インストラクター
駄賀 恒男 |
| ○ 9月26日(月) 『みんなで学ぼう
身近なイネ科草本の同定法』
名前を知りたいイネ科のサンプルをお持ちください | 13:00～15:00 学習室 集合
コーディネーター： 駄賀 恒男 |

◎ 展示会

場所:レストハウス
(ガラスケース展示)

- ・フラワーアレンジメント
作品展「花舞台」
～9月25日(日)
 - ・つづらふじ手作りカゴ作品展
9月28日(水)～11月7日(月)
- (ボード展示)
- ・緑化センター写真コンクール
歴代入賞作品展
～9月11日(日)
 - ・広島県の美しいキノコ写真展
9月14日(水)～10月13日(水)



フラワーアレンジメント作品展より

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

9月26日(月)は開園します

～卓球できます！～

卓球台(一面)、緑の相談所に設置しました。

ラケット、ボール無料貸出しします

(詳細は管理事務所まで)



広島県の美しいキノコ写真展より